

第4学年「総合」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 学習成果の発表に向けて真剣に練習することができる。
○ タブレットを使い、意欲的に調べることができる。
- 課題** ▼ 自分たちの課題を見つけ設定することが難しい。
▼ 実体験をともなった情報集めをする経験が少ない。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 課題設定の力
- ◇ 主体的・協同的に学ぶ力

具体的な改善策

- 教室だけの学習ではなく、体験の機会をもつようにし、その中で自ら課題を立てられるようにする。
- 調べたり考えたりしたことをペアやグループで交流し、発表に向けてどのようにまとめていくかを考えさせる場を設ける。

達成目標

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
 - 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 - 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。